



SUMINOE
GROUP

2023年5月期 決算概況

住江織物株式会社（東証プライム：3501） | 2023年7月

目次

2023年 5 月期 決算概況

- 連結業績 P. 4
- 連結業績推移（売上高/営業利益） P. 5
- 事業セグメント別内訳（インテリア事業 /自動車・車両内装事業 /機能資材事業） P. 7
- 連結バランスシート P.14
- 設備投資・減価償却費 P.15

2024年 5 月期 計画

- 連結収支計画/事業セグメント別計画 P.17
- 配当金について P.19

中長期経営目標 SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027 進捗

- 概要 P.21
- Topics ①～③ P.23
- 今後の重点取り組み ①～④ P.27

2023年5月期 決算概況

- 連結業績
- 連結業績推移
- 事業セグメント別内訳
- 連結バランスシート
- 設備投資・減価償却費

2023年5月期 (2022年6月 - 2023年5月) 連結業績



(単位：百万円)

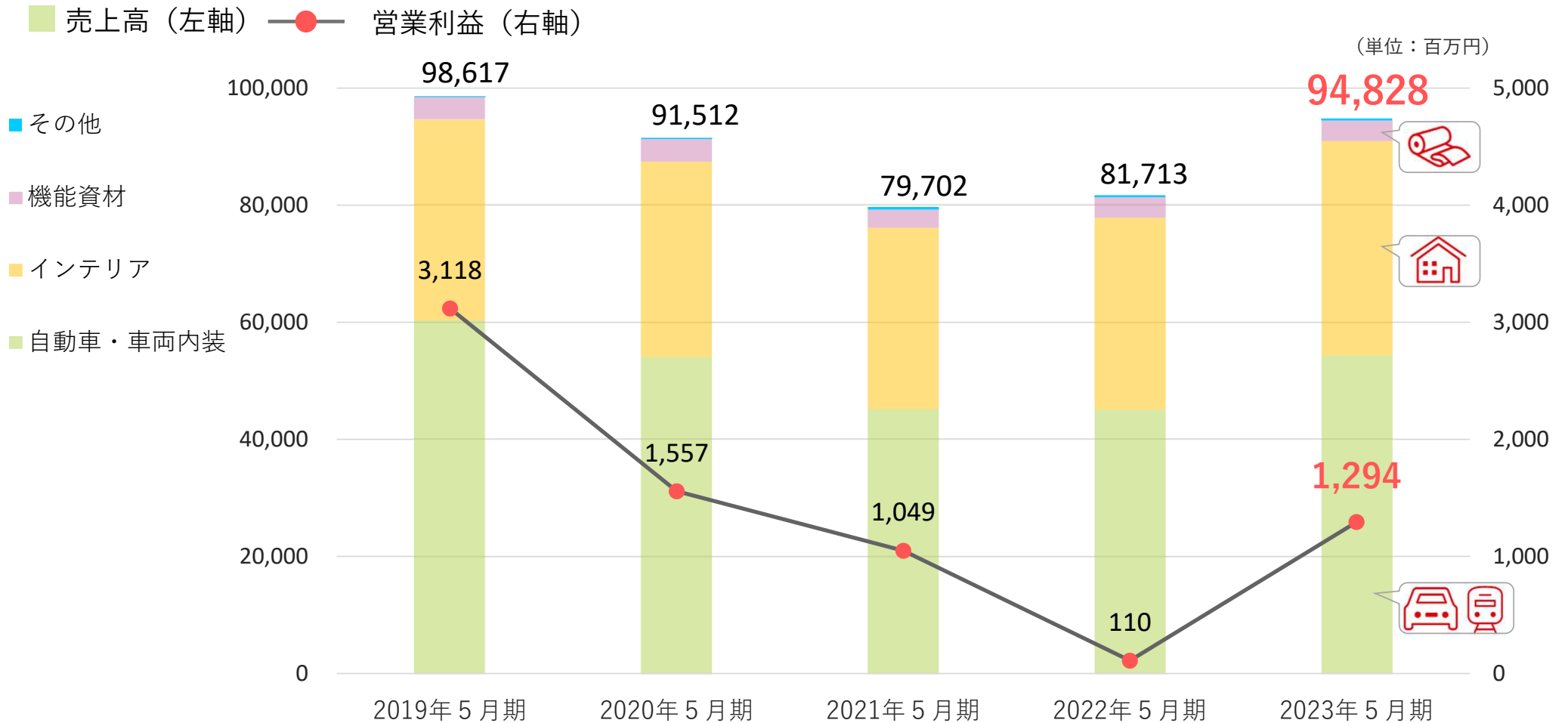
	当期	前期	前期比増減		期初計画 (2022/7/15付)	期初計画比増減	
			(率)	(額)		(率)	(額)
売上高	94,828	81,713	+16.0%	+13,114	89,000	+6.5%	+5,828
営業利益	1,294	110	—	+1,184	1,700	△23.8%	△405
営業利益率	1.4%	0.1%			1.9%		
経常利益	1,575	950	+65.7%	+624	1,800	△12.5%	△224
経常利益率	1.7%	1.2%			2.0%		
当期純利益	320	281	+14.0%	+39	500	△35.9%	△179
当期純利益率	0.3%	0.3%			0.6%		

(単位：円)

	当期	前期
為替レート 1 \$ =	136.00	113.06

※ 当資料の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表しています。

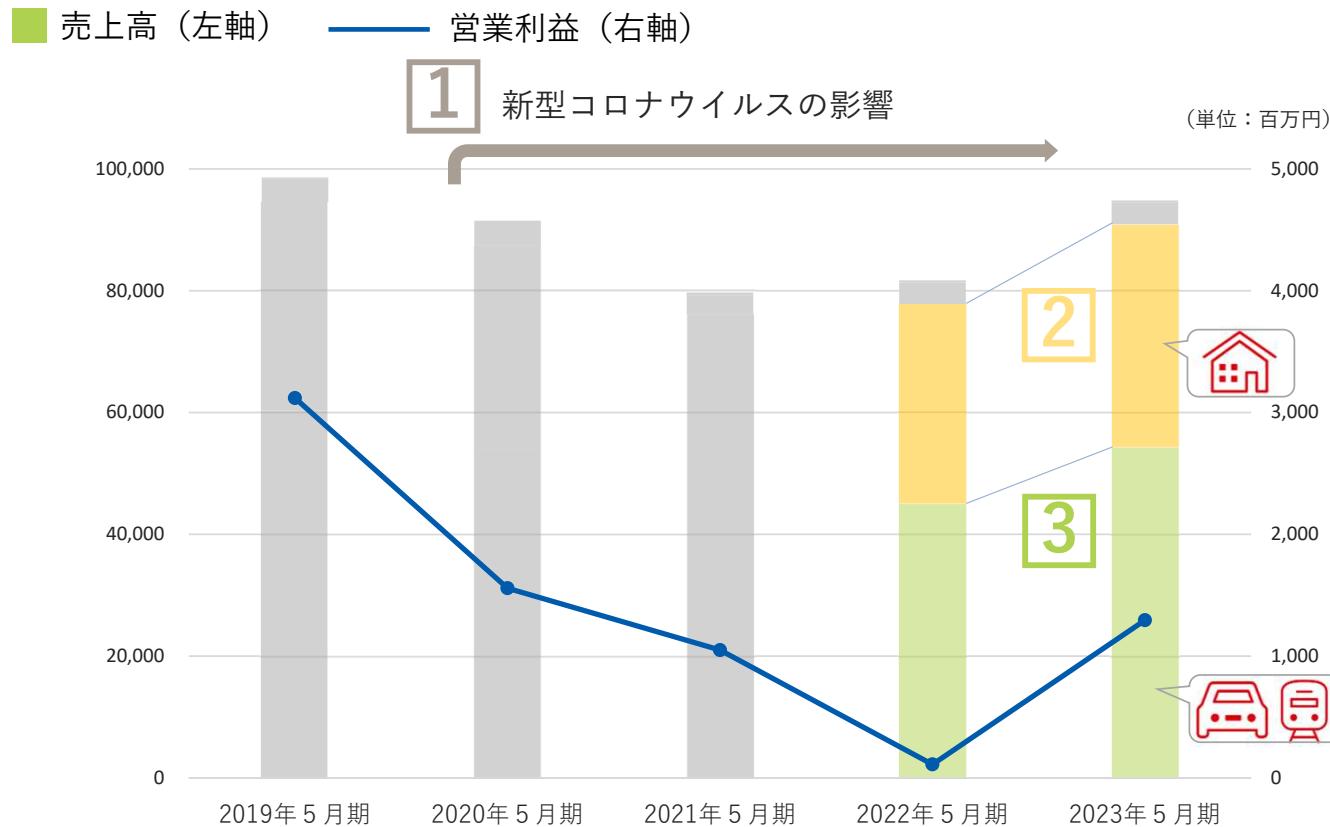
連結業績推移 (売上高/営業利益)



連結業績推移のポイント

	'19/5期	'20/5期	'21/5期	'22/5期	'23/5期
連結売上高 (営業利益)	98,617 (3,118)	91,512 (1,557)	79,702 (1,049)	81,713 (110)	94,828 (1,294)

(単位：百万円)



業績動向

- 2019年5月期までは売上高・営業利益ともに増加傾向だったが、2020年から2022年5月期まではコロナ禍が各事業に大きく影響
- 業務用カーペットの大型物件受注、スペースデザインビジネスの貢献、価格改定効果等で、当期インテリア事業は売上・営業利益ともに増加
- 自動車・車両内装事業は、北中米拠点の事業再編、自動車生産台数の増加、為替の寄与等で、当期の売上高・営業利益は回復傾向

2022年11月「当社の抗ウイルス商品の一部に関するお知らせ」に関して、7月24日付で最終報を開示しました。
2023年5月期には、その対応費用の計上等が影響しましたが、2024年5月期の業績に与える影響は軽微です。

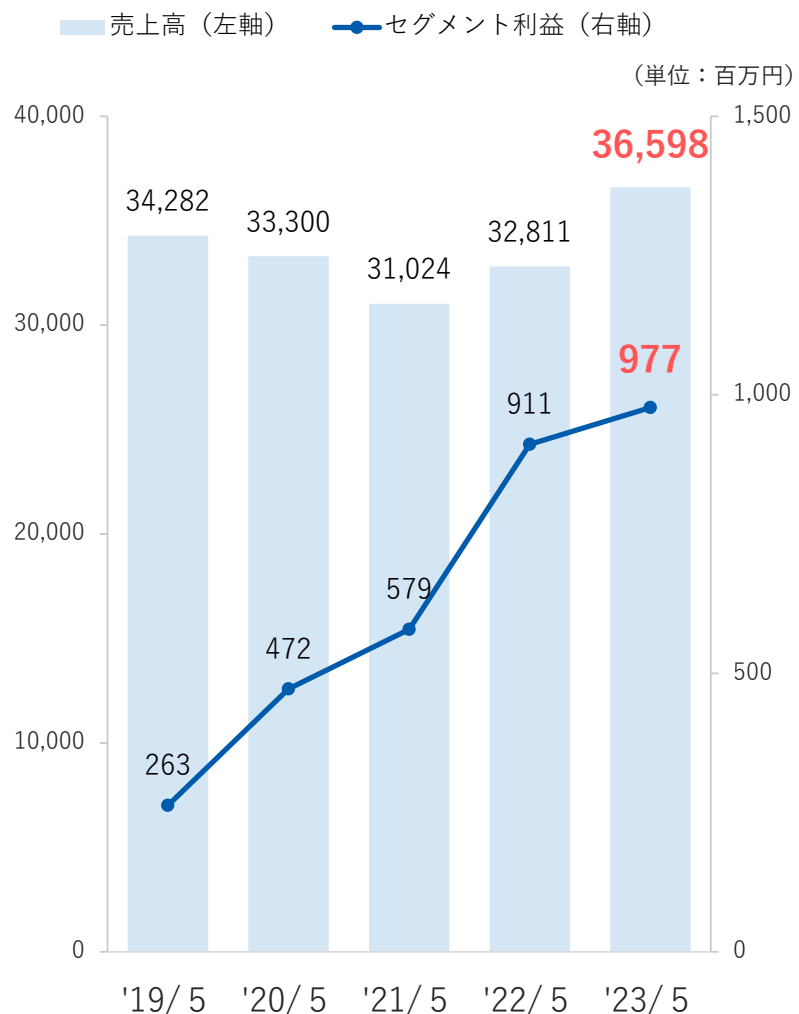
連結業績の事業セグメント別内訳



(単位：百万円)

		当期	前期	前期比		売上高比率 (当期)
				(率)	(額)	
売上高	インテリア	36,598	32,811	+11.5%	+3,786	38.6%
	自動車・車両内装	54,314	45,005	+20.7%	+9,309	57.3%
	機能資材	3,550	3,548	+0.1%	+2	3.7%
	その他	365	349	+4.7%	+16	0.4%
	合計	94,828	81,713	+16.0%	+13,114	100.0%
セグメント利益		当期	前期	前期比		
				(率)	(額)	
	インテリア	977	911	+7.3%	+66	
	自動車・車両内装	2,230	1,127	+97.8%	+1,102	
	機能資材	90	△192	—	+283	
	その他	60	63	△4.8%	△3	
調整額	△2,064	△1,799	—	△265		
合計	1,294	110	—	+1,184		

インテリア事業



事業環境	新設住宅着工戸数 前期比 △1.2%	着工床面積 前期比 △4.5%
	当社	売上高 前期比 + <u>11.5%</u> (+ 3,786百万円)
+ Point		- Point
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 業務用カーペットでの大型物件受注 ✓ 一部商材の価格改定効果 ✓ スペース デザイン ビジネスの貢献 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 家庭用カーペットでの巣ごもり需要の反動減からの回復伸び悩み

インテリア事業

業務用 カーペット

売上高前期比 +18.4%

+

- 水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」の大型物件受注
- 「ECOS®」の理念に賛同し採用される取引先数の増加
- ハイブランド向けロールカーペットの製造・販売が堅調

家庭用 カーペット

売上高前期比 Δ 13.6%

-

- 2021年5月期の外出自粛による、ウェブ向け・ホームセンターなどの店舗向け商材需要一巡

カーテン

売上高前期比 +2.3%

+

- 一般家庭向け「mode S (モードエス) カーテン Vol. 10」を新発売し、「U Life (ユーライフ) カーテン Vol. 10」とともに販売堅調

壁装関連

売上高前期比 +8.2%

+

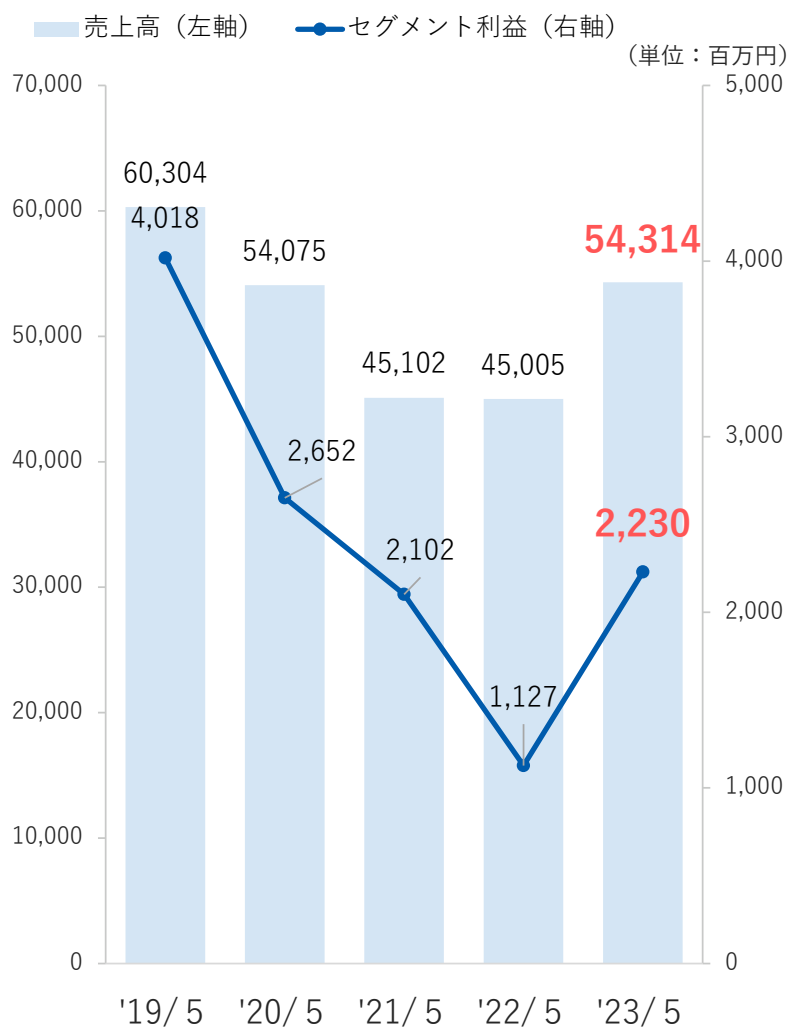
- 一部商材の価格改定効果
- 襖紙見本帳「景勝 第32集」を新発売

スペース デザイン ビジネス

+

- ショップ内装の複数店舗一括受注やタワーマンションへのオプション販売等で、(株)シーピーオー・(株)プレテリアテキスタイルの売上が堅調に推移

自動車・車両内装事業



事業環境	国内自動車 生産台数 前期比 +15.8%	海外自動車 前期比 生産・販売数 増
	当 社	売上高 前期比 +20.7% (+9,309百万円)
+ Point		- Point
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 日系自動車メーカーの国内生産増加 ✓ 東南アジアでの自動車販売が堅調 ✓ 為替影響 ✓ 鉄道・バスの内装材需要回復 		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 受注車種の立ち上がりの遅れ ✓ 原材料・エネルギー価格・物流費の高騰

自動車・車両内装事業

自動車内装 (国 内)

売上高前期比 +15.2%

+

- 半導体・部品供給不足緩和に伴う日系自動車メーカーの国内生産が回復
- 原材料価格上昇分の適切な価格転嫁効果

自動車内装 (海 外)

売上高前期比 +24.6%

+

- 北中米拠点での事業再編による北米子会社の収益改善
- 合成皮革事業の売上増加
- 為替影響
- 受注車種の立ち上がりの遅れ等による中国拠点の回復鈍化

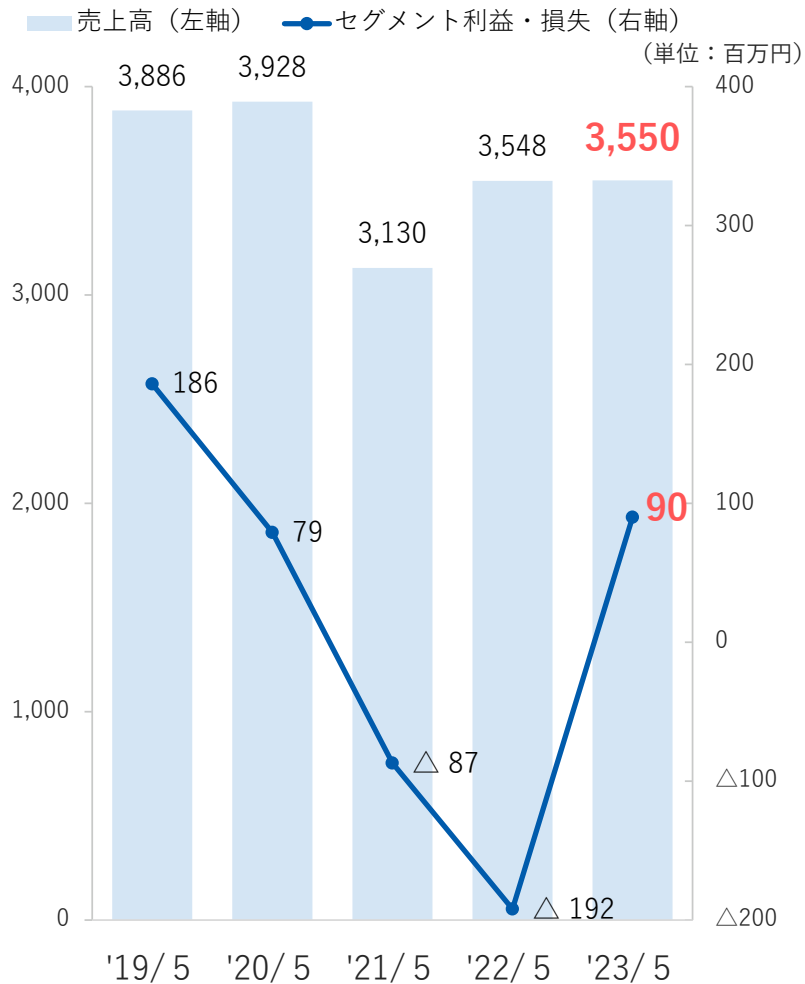
車 両 内 装

売上高前期比 増加

+

- 鉄道やバスの利用客数増加に伴う内装材の需要回復
- 関織物(株)のグループ会社化による市場シェア拡大

機能資材事業



当 社	売上高 前期比 +0.1% (+2百万円)	セグメント利益 前期比 — (+283百万円)
-----	--------------------------------	----------------------------------

+ Point	- Point
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 繊維系暖房商材等の価格改定効果 ✓ 機能性浴室床材の受注が伸長 ✓ 前期に中国工場からベトナム工場への生産移管等に伴う工場再編が完了 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 原材料価格高騰 ✓ 2022年納入分の新規受注数減少 ✓ 空気清浄機向け消臭フィルターのコロナ需要反動減

機能資材事業

繊維系
暖房商材

売上高前期比 増加

+

- 原材料価格高騰による価格改定効果
- 販売単価アップによる2022年納入分の新規受注数減少

消臭
フィルター

売上高前期比 減少

-

- コロナ需要後の反動減で、空気清浄機向け消臭フィルター受注低調

機能性
浴室床材

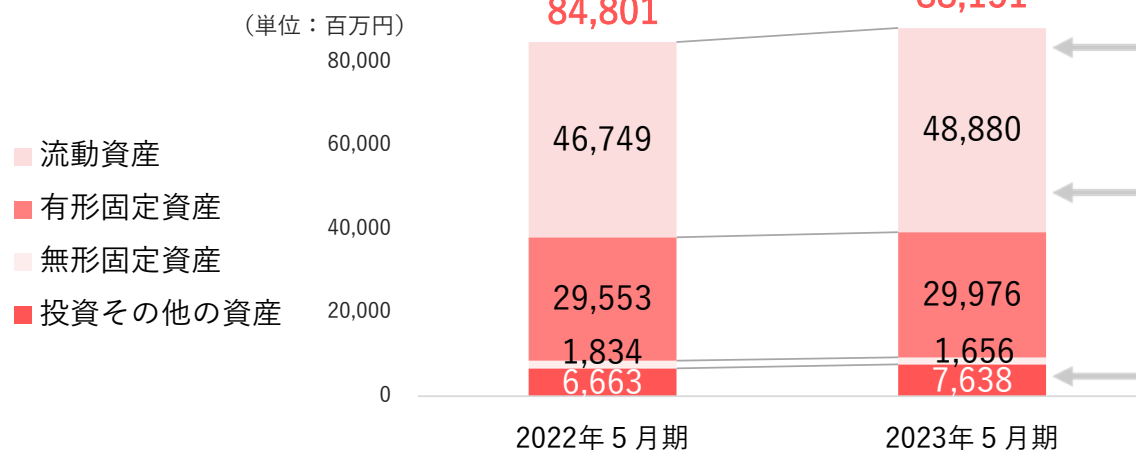
売上高前期比 増加

+

- 客先の好調な販売に伴い、受注増加

連結バランスシート

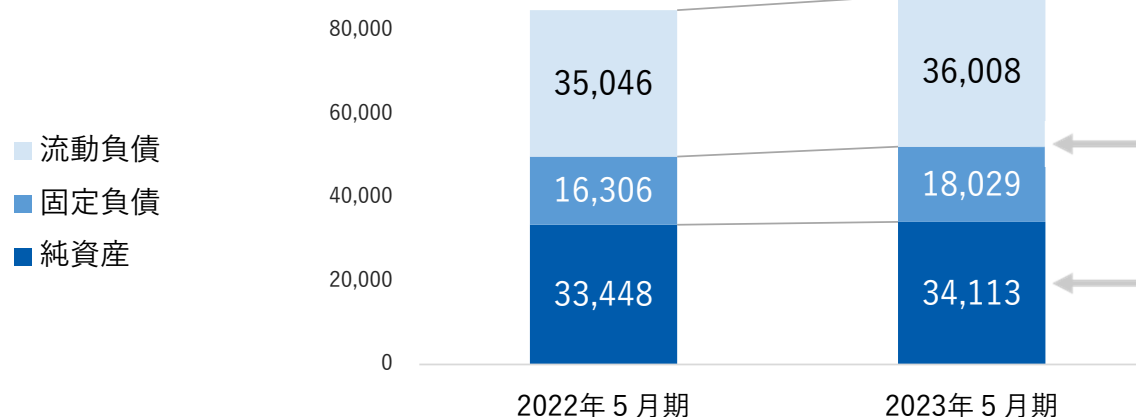
<資産>



特記事項

- うち、現金及び預金
● 前期末比△1,070百万円の7,079百万円
- うち、棚卸資産
● 前期末比+301百万円の15,923百万円
(為替差+386百万円 実力差△85百万円)
- うち、投資有価証券
● 前期末比+600百万円の4,904百万円

<負債・純資産>

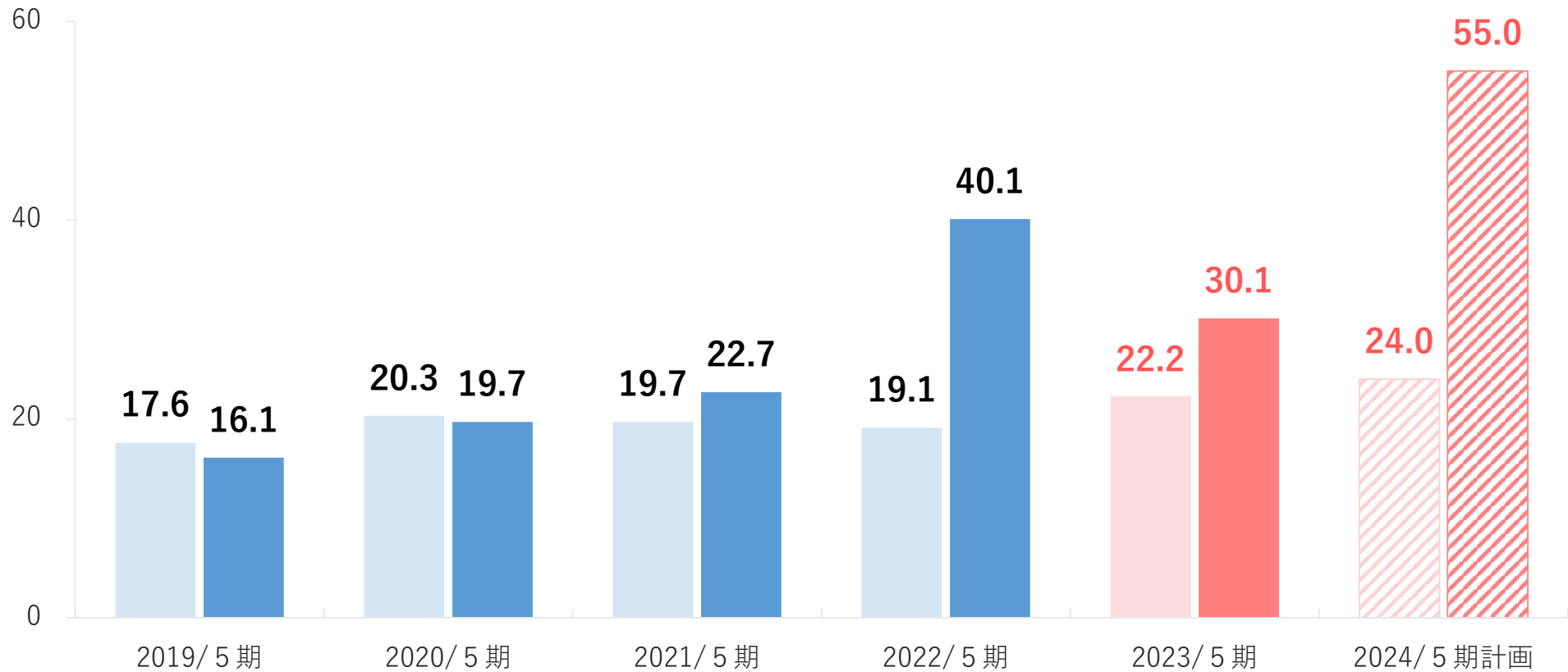


- うち、借入金(リース債務除く)
● 前期末比+2,280百万円の21,280百万円
- うち、利益剰余金
● 前期末比△273百万円の11,207百万円

設備投資・減価償却費

(単位：億円)

■ 減価償却費 ■ 設備投資



設備投資の主な案件

● 2022/5期

- ・奈良事業所の再編プロジェクト

● 2023/5期～2024/5期

- ・基幹システム再構築
- ・メキシコ子会社 合成皮革製造工場新設

2024年5月期 計画

- 連結収支計画/事業セグメント別計画
- 配当金について

2024年5月期 連結収支計画

(単位：百万円)

	2024年5月期 計画	2023年5月期 実績	前期比増減	
			(率)	(額)
売上高	99,000	94,828	+4.4%	+4,171
営業利益	2,600	1,294	+100.8%	+1,305
営業利益率	2.6%	1.4%		
経常利益	2,700	1,575	+71.4%	+1,124
当期純利益	1,300	320	+305.7%	+979

(単位：円)

想定レート
1 \$ =

'24/5期

135.00



インテリア

- 「ECOS® (エコス)」を中心とした環境対応型製品や、優れたデザインに機能性・高品質をプラスした高付加価値製品の拡販
- スペース デザイン ビジネスの強化と拡充



自動車・ 車両内装

- 自動車関連：北中米拠点を中心とした海外拠点の事業強化と環境対応型製品の開発・拡販
- 車両関連：グループ会社化した製造拠点（関織物）との連携による、意匠性向上と機能性商材の開発



機能資材

- 2023年5月期の市況低迷の影響を受け、繊維系暖房商材の新規受注数が減少

2024年5月期 事業セグメント別計画



(単位：百万円)

		2024年5月期 計画	2023年5月期 実績	前期比	
				(率)	(額)
売上高	インテリア	36,640	36,598	+0.1%	+41
	自動車・車両内装	58,800	54,314	+8.3%	+4,485
	機能資材	3,200	3,550	△9.9%	△350
	その他	360	365	△1.5%	△5
	合計	99,000	94,828	+4.4%	+4,171
セグメント利益		2024年5月期 計画	2023年5月期 実績	前期比	
				(率)	(額)
	インテリア	1,070	977	+9.4%	+92
	自動車・車両内装	3,630	2,230	+62.7%	+1,399
	機能資材	△30	90	—	△120
	その他	60	60	△1.0%	△0
調整額	△2,130	△2,064	—	△65	
合計	2,600	1,294	+100.8%	+1,305	

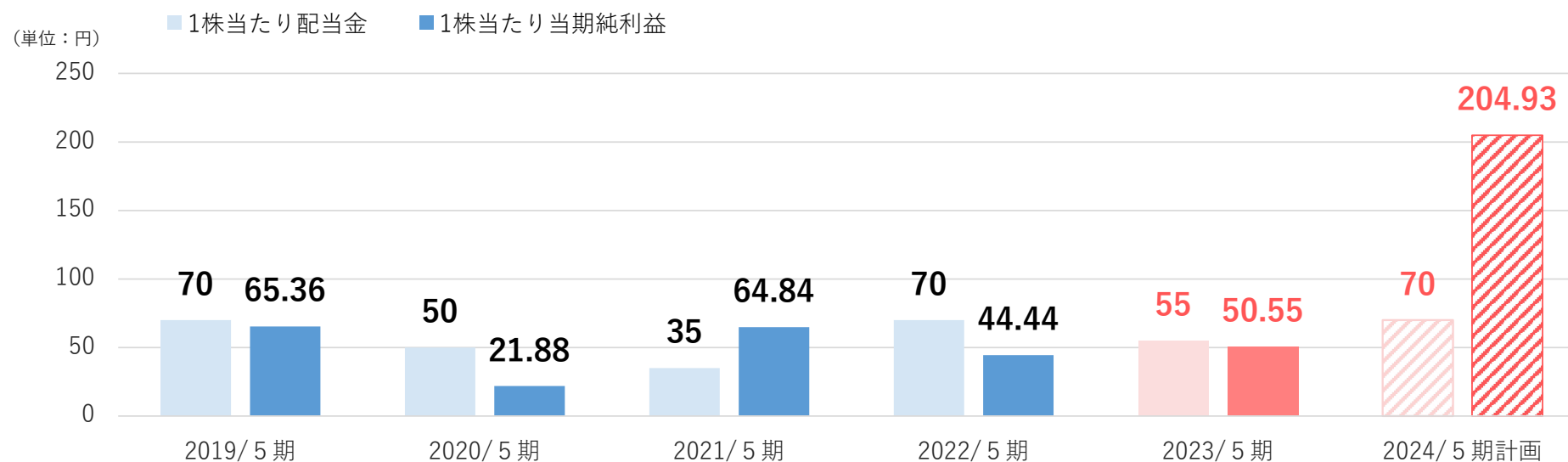
配当金について

配当政策

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施することを基本方針としています。
配当時期については、中間および期末の年2回を基本とします。

2023年5月期と2024年5月期配当について

2023年5月期の配当金につきましては、業績が計画に対して伸び悩んだことから、中間は1株当たり35円を実施し、期末は20円、年間55円とさせていただきます予定です。
また、2024年5月期の配当金は、中間・期末ともに35円とし、年間70円とさせていただきます予定です。



中長期経営目標 進捗

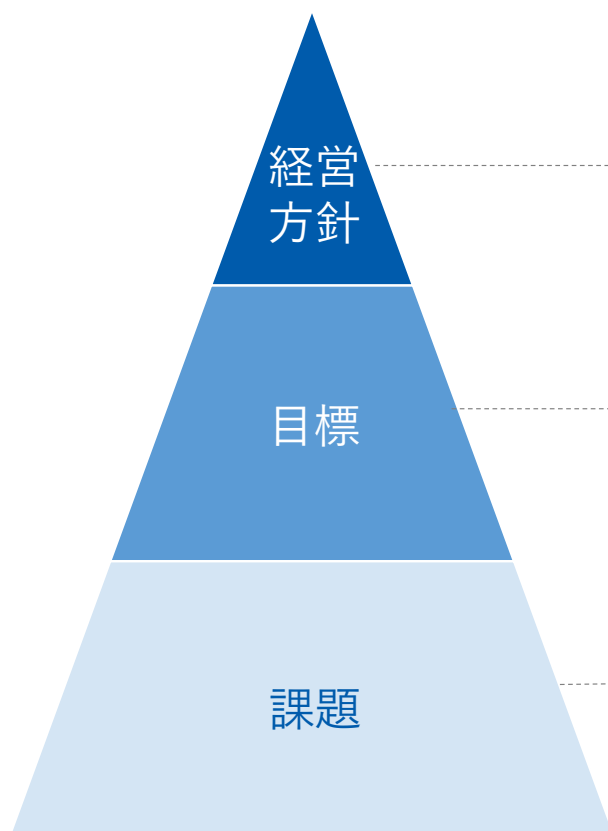
SUMINOE GROUP WAY 2022~2024~2027

- 概要
- Topics
- 今後の重点取り組み

中長期経営目標 概要

中長期的な「ありたい姿」を見据え、2027年5月期までの方針を定めました。

SGW SUMINOE GROUP WAY 2022~2024~2027



- より良いビジネスモデルを構築し
社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する
- 売上拡大、成長への基盤づくり
- 財務体質の改善
- 社員の幸せにつながる職場づくり
- 会社と社員のビジョンの共有
- CO₂排出量の削減、環境対策商材の開発・販売
- コスト競争力の強化
- オンリーワン商材の開発
- 抗菌・抗ウイルス加工商材の拡販
- 安全・安心な職場環境
- 多様な人材の活躍・人材育成
- ガバナンスの強化
- 基幹システムによる業務効率改善
- 企業ブランド価値の向上

中長期経営目標 概要

SGW SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027

経営方針

- より良いビジネスモデルを構築し 社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する

売上拡大、成長への基盤づくり

- ・ 営業利益率 5%以上
- ・ 成長の基盤づくりに向けた投資計画
- ・ 環境対応型商材の開発と販売促進

財務体質の改善

- ・ DEレシオ改善
- ・ 在庫回転率アップ
- ・ 自己株式の活用

社員の幸せにつながる職場づくり

- ・ 健康に働ける職場環境づくり、人材育成、多様な人材の活用

会社と社員のビジョンの共有



Topics ① 企業ブランド価値の向上



住江織物グループは、 SUMINOE GROUP へ

中長期的な企業価値向上を目指し、
2023年6月 グループ理念を発表しました。

グループ統一ロゴ / タグライン



あらゆる空間に、
イノベーションを。

グループ理念

VISION

【わたしたちの目指す未来】

時代や地球と調和する
「新しい快適のスタンダード」を織りあげ
よろこび広がる未来の暮らしをつくる。

MISSION

【わたしたちが果たすべき使命】

暮らしに寄り添う技術とアイデアで
人と社会にやさしい空間を
世界中へ。

SPIRIT

【わたしたちが大切にする価値観(社訓)】

業界の先駆者としての
誇りを持ち、和協、誠実、
不屈の精神をつらぬく。

VALUE

【事業活動の基本指針】

SUMINOE “4C” Values

- | | |
|------------|--|
| Challenge | 業界の先駆者としての高度な技術力と幅広い顧客基盤を礎に、
新たな事業展開にチャレンジする。 |
| Create | 独自の技術を掛け合わせ、新しい価値を創造する。 |
| Customer | 顧客に誠実に寄り添う力と先見性をもとに、
新たな課題を抽出し開発に活かす。 |
| Contribute | 人にも地球にもやさしいモノづくりをこれからも追求し続ける。 |

Topics ① 企業ブランド価値の向上

IR・広報活動を強化しています

ステークホルダーからの理解・共感を得るため、ターゲットに合わせた活動を強化推進しています。

スポンサードレポート発行

機関投資家向け決算説明会

1 on 1 ミーティング

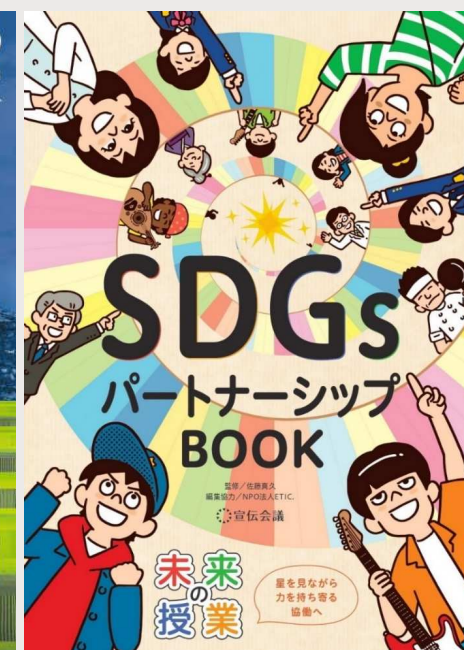
個人投資家向け会社説明会

広報・取材対応

広告出稿



2023年2月
日本経済新聞 全国版朝刊 一面広告出稿
2023年4月～(毎月一回 1年間)
日本経済新聞 全国版朝刊 突出し広告出稿



2022年12月
小中高生向け書籍「未来の授業
SDGsパートナーシップBOOK」
掲載、YouTube動画の制作

Topics ② 水平循環型リサイクルへの評価と取り組み



水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」



- 2022年10月 『令和4年度資源循環技術・システム表彰』 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞

令和4年度
資源循環技術・システム表彰
経済産業省産業技術環境局長賞



水平循環型リサイクルタイルカーペット
建築資材の循環システムにおける
廃棄物削減による社会への貢献
住江産物株式会社

建築資材の循環環境システムにおける廃棄物削減による社会への貢献が評価されました。

- 2023年3月 『大阪府認定リサイクル製品』 認定
再生品のうち、循環的な利用の促進に特に資するものとして ECOS® 4 シリーズ (278配色) が認定されました。

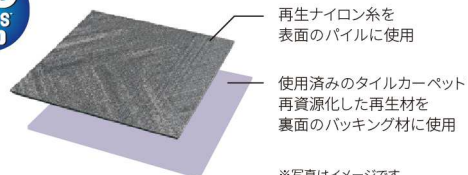


- 2023年3月 国内最高水準の再生材比率「ECOS NEO™（エコス ネオ）」シリーズ

従来のバックキグ材に加え表面にも再生材を使用し、国内最高水準の再生材比率81%※を実現。

(※ECOS NEO™ EXの場合。2023年3月現在自社調べ。)

パイルとバックキグ両方が
リサイクル材なので、
圧倒的な再生材比率を実現



※写真はイメージです



※ECOS NEO™ EXの場合

ECOS®の理念に賛同される
みなさまとともに
SUMINOE GROUPは
進化していきます

Topics ③ グローバルでの競争力強化

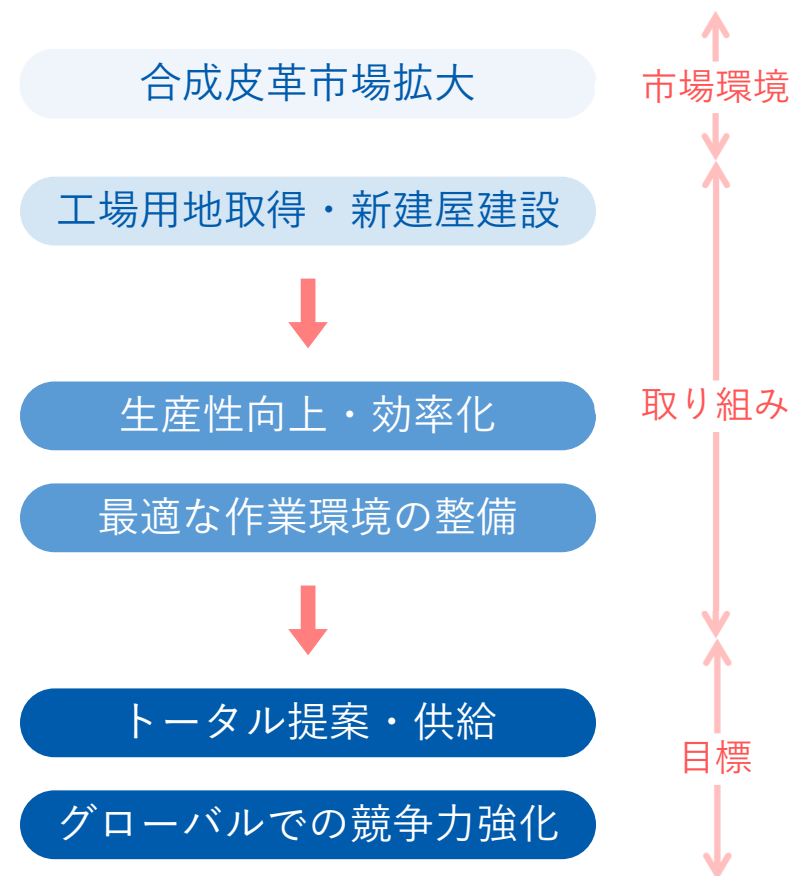
メキシコ子会社に 合成皮革製造 新工場を建設します

北中米における自動車内装材の合成皮革市場拡大に対応するため、提案力と競争力のさらなる強化を図るとともに、生産性向上を目指します。

● メキシコ工場 取得用地・新建屋概要



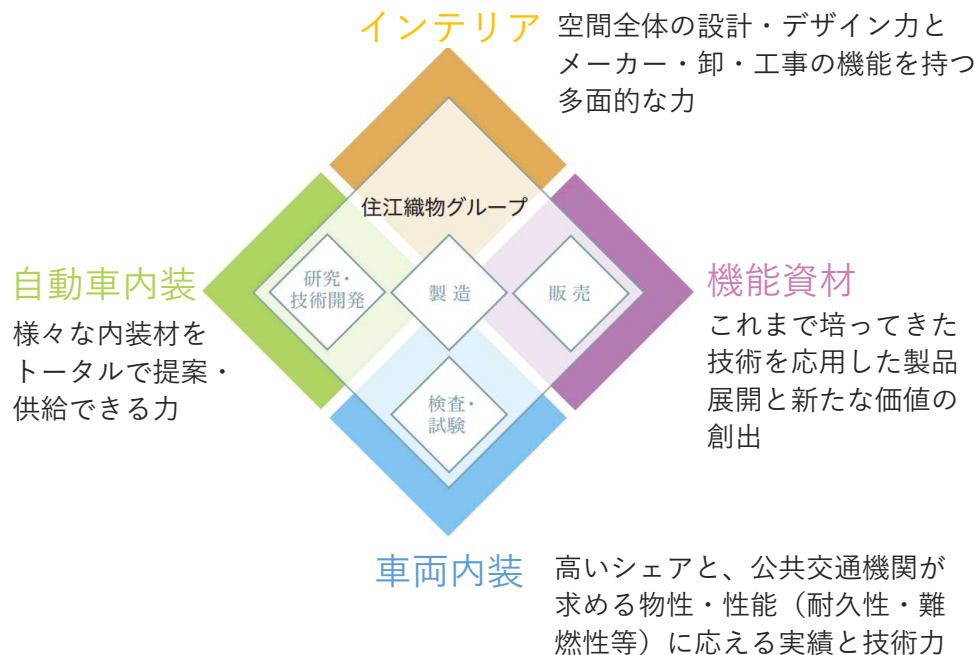
- 投資金額 約 30 億円 (土地、建屋建設、加工設備を含む)
- 敷地面積 約 47,000 m²
- 延床面積 約 15,000 m²
- 完成予定 2023 年 11 月
- 量産開始 2024 年 6 月
- 生産能力 40万 m/月 (合成皮革)



今後の重点取り組み① グループ総合力によるシナジー創出

グループの総合力を活かし 事業を越えたシナジーを創出します

各事業の市場ニーズに応える技術力を活かし
当社グループならではの提案力を高めます。



×

- 多様なスキルを持つ人材
- モノづくりに関わる専門的なノウハウ
- モノづくりと市場ニーズを融合できるデザイン力
- 創業140年の歴史に培われた信頼と実績



- キャリア申告制度
- ツナグ座談会（社長・役員⇄社員）
- デザイン職 / 営業職 交流会



今後の重点取り組み② 上場維持基準の達成に向けて



プライム市場上場維持基準達成に向けた各種取り組みを継続します

2024年5月末までに上場維持基準を充たすため、各種取り組みを進めています。

	プライム市場 上場維持基準	当社グループの 状況
株主数	800人以上	○
流通株式数	20,000単位以上	○
流通株式時価総額	100億円以上	未達
売買代金	1日平均売買代金0.2億円以上	○
流通株式比率	35%以上	○

既存事業強化

- 中長期経営目標に基づき、各事業部にて既存事業強化の取り組みを実施

設備投資 M & A

- 基幹システム再構築（～2025年5月）
- メキシコ子会社合成皮革製造ライン新設
- スペース デザイン ビジネス拡大に向けたM&A等

IR 活性化

- IR資料の英語対応
- 有料アナリストレポートの発行
- 機関投資家 1 on 1 ミーティング回数増加

開示資料の充

- 2022年度より統合報告書発行（英語版含む）

コーポレートガバナンスの実

- 2022年8月定時株主総会より「機関投資家向け 議決権電子行使プラットフォーム」参加

流通株式数の増加

- 2022年度より株主優待制度導入

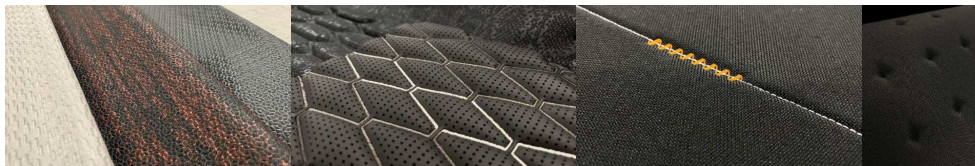
今後の重点取り組み③ 自動車内装事業の収益拡大

自動車内装事業の収益拡大に向け加飾事業を強化しています

車室空間のニーズに合わせた新しい高付加価値製品を生み出します。

当社グループの強み

● ファブリック・合成皮革の加飾加工技術



● 新製品の開発・提案力



「ラゲッジプロテクション PH フィルム」

● 自動車内装材のトータルコーディネート力

今後の展望

- 海外メーカーへの提案活動推進
- 刺繍技術をはじめとする加飾加工技術の採用拡大
- 自動運転技術進展に伴う車室空間ニーズ変化への対応



自動車内装事業の収益拡大

今後の重点取り組み④ 環境対応型製品の開発・拡販

人と社会、環境にやさしい製品づくりに
SUMINOE GROUP一丸となって取り組みます

開発の基本理念「K(健康)K(環境)R(リサイクル)
+ A(アメニティ：快適さ)」に基づき、技術・製品の
開発および拡販を推進します。

廃漁網の再利用

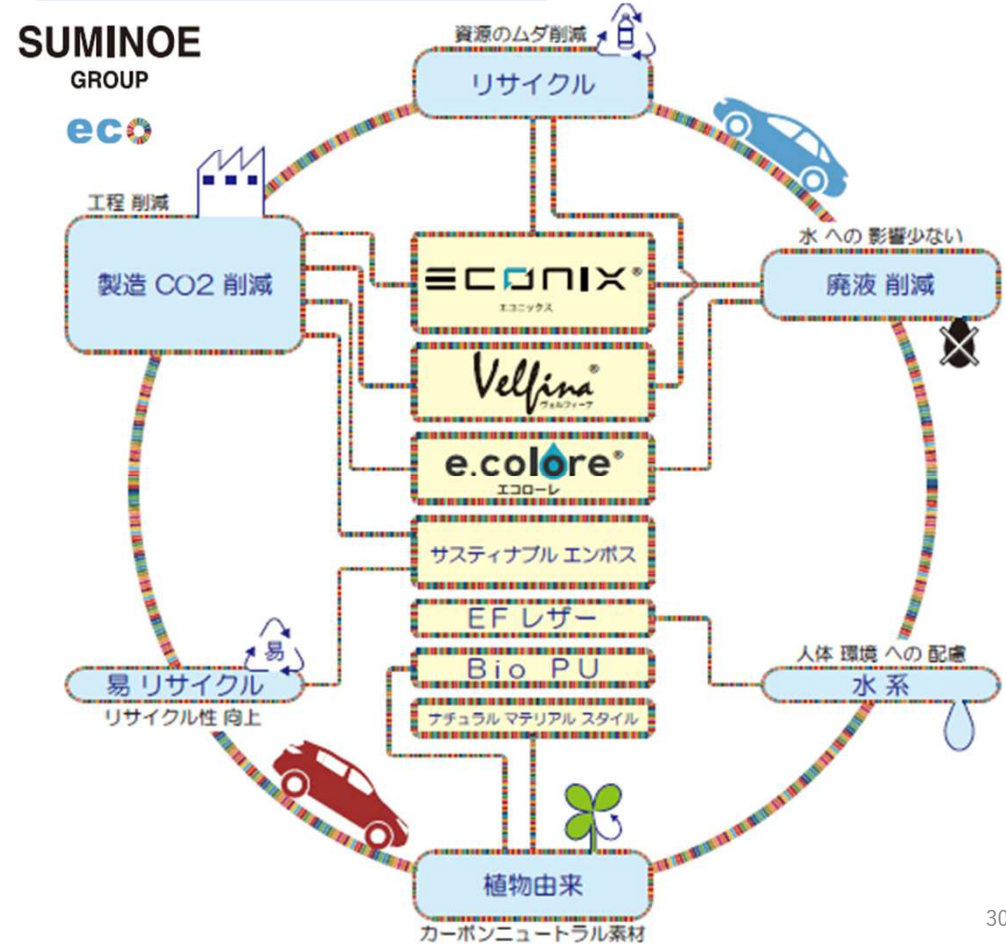
SEACLE 再生漁網ナイロン糸
(住江テクノ滋賀工場製)
シークル



● 国内廃漁網を再生した
ナイロン糸を一部タイル
カーペットに使用

※ECOS iD-1522EPに使用

カーインテリア



当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。